

令和 6 年度
福島県民俗芸能団体実態調査
報告書

令和 7 年 9 月

福島県文化スポーツ局文化振興課

(調査実施団体：特定非営利活動法人民俗芸能を継承するふくしまの会)

第1 調査の概要

1 調査目的

福島県内の民俗芸能は、少子高齢化等により人口減少が続いている中、平成23年の東日本大震災・原子力災害により、浜通り地方を中心に県内外への転出も加わり、担い手不足などの要因により、今後継承していくことが困難となる団体がさらに増えていくことが想定される。

こうした状況を踏まえ、福島県としては、地域の絆を深め、地域づくりに欠かせない民俗芸能の継承支援に役立てることを目的として、民俗芸能団体の現状や課題等についての実態調査を実施した。

2 調査内容

福島県が特定非営利活動法人民俗芸能を継承するふくしまの会に委託して実施している福島県民俗芸能復興サポート事業の一環として、5年に1回を目安に実施。(前回実施：令和元年度)

(1) 調査基準日

令和6年9月1日

(2) 調査項目

ア 民俗芸能の基本情報

- ・ 民俗芸能の名称及び所在地
- ・ 保存会（保護団体）の名称及び人数
- ・ 活動の状況
- ・ 記録資料・映像資料の有無
- ・ 外部からの支援の有無・支援内容 など

イ 継承者について

ウ 今後の活動のために必要なもの

(3) 調査方法

ア 保存会（保護団体）の代表、住所地調査

※ 福島県が令和元年度に実施した「民俗芸能団体実態調査」の際に確認した民俗芸能団体の基本データを県内各市町村文化所管課に送付し、保存会（保護団体）の名称、代表者の連絡先等を加除訂正いただいた。

また、代表者の連絡先等が不明な団体については、可能な限り、電話照会等により把握に努めた。

イ 実態調査票を郵送により配布、回収

※ 保存会（保護団体）へ直接送付、または市町村経由で配布。

ウ 保存会（保護団体）へ電話連絡による提出依頼や訪問による聞き取り

(4) 調査期間

令和6年9月～令和7年3月（郵送による調査、電話及び個別訪問による聞き取り調査）

(5) 実態調査回収状況

	全体	会津	中通り	浜通り
発送標本数	506	114	182	210
回収標本数	270	71	111	88
回 収 率	53.4%	62.3%	61.0%	41.9%

※各民俗芸能団体における歴史や背景等も踏まえて調査対象を選定しており、令和元年度と発送標本数が異なる。

3 報告書の見方

- ・ 図表は、全体、会津地方、中通り地方、浜通り地方の順に記載している。
- ・ 各設問には四捨五入の関係で、合計が100%を超えているものがある。

第2 調査の結果

1. 民俗芸能の基本情報

(1) 活動の状況（単一回答）

	全体	会津	中通り	浜通り
活動中	167 (63.5%)	55 (67.9%)	74 (68.5%)	38 (51.4%)
一時休止したが再興した	34 (12.9%)	4 (4.9%)	14 (13.0%)	16 (21.6%)
休止中	46 (17.5%)	17 (21.0%)	15 (13.9%)	14 (18.9%)
廃絶	16 (6.1%)	5 (6.2%)	5 (4.6%)	6 (8.1%)
合計	263 (100%)	81 (100%)	108 (100%)	74 (100%)

全体では、「活動中」と回答した団体が約6割と最も多く、次いで「休止中」、「一時休止したが再興した」、「廃絶」の順となっている。「活動中」と「一時休止したが再興した」を合わせると、7割を超える。

地方別に見ると、会津及び中通りでは「活動中」と回答あった団体が7割近くあるが、浜通りでは「活動中」が約5割となっている。一方で、浜通りでは「一時休止したが再興した」が2割を超える結果となった。

令和元年度調査では、「活動中」と「休止したが再興した」を合わせると8割を超えており、今回調査結果の範囲においては、活動中の団体の割合が減少する結果となった。

※令和元年度調査

令和元年度において、民俗芸能の継承状況の実態を把握するため、県内の民俗芸能継承団体等にアンケート調査を行った。

○「一時休止したが再興した」と答えた団体の再興の契機

(回答団体数 34, 複数回答可)

	全体	会津	中通り	浜通り
国・県・市町村の補助事業の活用	5 (10.9%)	0 (0%)	1 (5.3%)	4 (16.7%)
民間・財団などの助成事業の活用	4 (8.7%)	0 (0%)	3 (15.8%)	1 (4.2%)
その他の団体からの支援	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
集落の盛り上がり	11 (23.9%)	2 (66.7%)	6 (31.6%)	3 (12.5%)
芸能の担い手の確保	8 (17.4%)	0 (0%)	3 (15.8%)	5 (20.8%)
主導者（リーダー）の熱意	9 (19.6%)	1 (33.3%)	3 (15.8%)	5 (20.8%)
その他	9 (19.6%)	0 (0%)	3 (15.8%)	6 (25.0%)
合計	46 (100%)	3 (100%)	19 (100%)	24 (100%)

全体では、「集落の盛り上がり」と回答した団体が2割を超え最も多く、次いで「主導者（リーダー）の熱意」、「芸能の担い手の確保」の順となっている。

地方別に見ると、中通りは「集落の盛り上がり」と回答した団体が最も多いが、浜通りは各回答に大きな差はなく、再興の契機が多岐にわたっている。

令和元年度調査においては、再興の契機として「国・県・市町村の補助事業」及び「主導者（リーダー）の熱意」と回答した団体が最も多く、「主導者（リーダー）の熱意」は継続して高い割合で推移している。

○「休止中」と答えた団体の休止の理由

（回答団体数 46、複数回答可）

	全体	会津	中通り	浜通り
少子高齢化	22 (17.1%)	7 (16.7%)	6 (16.7%)	9 (17.6%)
地域の過疎化	18 (14.0%)	6 (14.3%)	6 (16.7%)	6 (11.8%)
継承者（会員）の高齢化	25 (19.4%)	6 (14.3%)	7 (19.4%)	12 (23.5%)
継承者の不足	30 (23.3%)	9 (21.4%)	9 (25.0%)	12 (23.5%)
コロナ禍の影響	21 (16.3%)	10 (23.8%)	7 (19.4%)	4 (7.8%)
道具類の修理・新調が難しかった	1 (0.8%)	1 (2.4%)	0 (0%)	0 (0%)
練習場所の確保ができなかった	1 (0.8%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (2.0%)
発表機会がなかった	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
活動資金が足りなかった	2 (1.6%)	0 (0%)	1 (2.8%)	1 (2.0%)
その他	9 (7.0%)	3 (7.1%)	0 (0%)	6 (11.8%)
合計	129 (100%)	42 (100%)	36 (100%)	51 (100%)

全体では、「継承者の不足」と回答した団体が2割を超え最も多く、次いで「継承者（会員）の高齢化」、「少子高齢化」、「コロナ禍の影響」、「地域の過疎化」の順となっている。

地方別に見ると、会津及び中通りは各回答に大きな差はなく理由が多岐にわたっており、浜通りは「継承者（会員）の高齢化」、「継承者の不足」が高い。

○「休止中」と答えた団体の再興のための課題

(回答団体数 46, 複数回答可)

	全体	会津	中通り	浜通り
継承者の確保	37 (37.0%)	13 (37.1%)	13 (43.3%)	11 (31.4%)
避難生活の長期化によるメンバーの離散	6 (6.0%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (17.1%)
指導者の確保	19 (19.0%)	5 (14.3%)	6 (20.0%)	8 (22.9%)
主導者（リーダー）の熱意	8 (8.0%)	4 (11.4%)	3 (10.0%)	1 (2.9%)
会員や地元住民の信仰心・郷土意識の低下	16 (16.0%)	5 (14.3%)	6 (20.0%)	5 (14.3%)
活動資金の確保	4 (4.0%)	2 (5.7%)	1 (3.3%)	1 (2.9%)
用具・衣装の修理・新調	4 (4.0%)	2 (5.7%)	1 (3.3%)	1 (2.9%)
練習場所の確保	2 (2.0%)	1 (2.9%)	0 (0%)	1 (2.9%)
発表機会の確保	1 (1.0%)	1 (2.9%)	0 (0%)	0 (0%)
他団体との連携・ネットワーク	1 (1.0%)	1 (2.9%)	0 (0%)	0 (0%)
その他	2 (2.0%)	1 (2.9%)	0 (0%)	1 (2.9%)
合計	100 (100%)	35 (100%)	30 (100%)	35 (100%)

全体では、「継承者の確保」と回答した団体が3割を超え最も多く、次いで「指導者の確保」、「会員や地元住民の信仰心・郷土意識の低下」の順となっている。

地方別に見ても全体と同様の傾向であるが、浜通りは「避難生活の長期化によるメンバーの離散」と回答した団体も約2割となっている。

令和元年度調査においても、「後継者の確保」と回答した団体が最も多く、「避難生活の長期化による保存会・地域住民の離散」が僅差で続き、次いで「指導者の確保」、「会員や地元住民の信仰心・郷土意識の低下」の順となっており、概ね同様の傾向が続いているが「避難生活の長期化による保存会・地域住民の離散」は若干低下した。

○「休止中」と答えた団体の再興の意思

(回答団体数 38, 単一回答)

	全体	会津	中通り	浜通り
再興したい。すでに再興する準備が整っている。	1 (2.6%)	1 (10.0%)	0 (0%)	0 (0%)
再興したいが、現時点では実現が難しい	29 (76.3%)	8 (80.0%)	9 (64.3%)	12 (85.7%)
たとえ課題が解決したとしても、再興は難しい	6 (15.8%)	1 (10.0%)	3 (21.4%)	2 (14.3%)
わからない	2 (5.3%)	0 (0%)	2 (14.3%)	0 (0%)
その他	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
合計	38 (100%)	10 (100%)	14 (100%)	14 (100%)

全体では、「再興したいが、現時点では実現が難しい」と回答した団体が7割を超え最も多く、地方別に見ても同様の傾向である。

○「休止中」と答えた団体の再興が厳しい理由

(回答団体数 41, 単一回答)

	全体	会津	中通り	浜通り
再興したとしても継承者不足の課題はなくなるらないため	20 (48.8%)	3 (33.3%)	10 (55.6%)	7 (50.0%)
避難していて故郷に戻れないから(原発事故等により)	2 (4.9%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (14.3%)
保存会の高齢化と少子化が進んでいるから	15 (36.6%)	5 (55.6%)	5 (27.8%)	5 (35.7%)
活動資金が不足しているから	1 (2.4%)	0 (0%)	1 (5.6%)	0 (0%)
道具の修理・新調が難しいから	1 (2.4%)	0 (0%)	1 (5.6%)	0 (0%)
その他	2 (4.9%)	1 (11.1%)	1 (5.6%)	0 (0%)
合計	41 (100%)	9 (100%)	18 (100%)	14 (100%)

全体では、「再興したとしても継承者不足の課題はなくなるらないため」と回答した団体が約5割と最も多く、次いで「保存会の高齢化と少子化が進んでいるから」となっている。

地方別に見ると、会津は「保存会の高齢化と少子化が進んでいるから」が5割を超え最も多い。

○「廃絶」と答えた団体の原因

(回答団体数 16, 複数回答可)

	全体	会津	中通り	浜通り
継承者がいなくなった	11 (44.0%)	4 (50.0%)	4 (50.0%)	3 (33.3%)
地域住民の協力が得られなくなった	6 (24.0%)	0 (0%)	4 (50.0%)	2 (22.2%)
道具類の修理・新調が難しかった	3 (12.0%)	1 (12.5%)	0 (0%)	2 (22.2%)
練習場所の確保ができなかった	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
発表機会がなかった	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
活動資金が足りなかった	1 (4.0%)	1 (12.5%)	0 (0%)	0 (0%)
その他	4 (16.0%)	2 (25.0%)	0 (0%)	2 (22.2%)
合計	25 (100%)	8 (100%)	8 (100%)	9 (100%)

全体では、「継承者がいなくなった」と回答した団体が4割を超え最も多く、次いで「地域住民の協力が得られなくなったから」、「道具類の修理・新調が難しかった」の順となっている。

(2) 保存会(保護団体)の会員の年代

(回答団体数 252, 複数回答可)

	全体	会津	中通り	浜通り
～10 代	82 (10.2%)	25 (12.1%)	32 (9.5%)	25 (9.5%)
20 代～30 代	140 (17.4%)	41 (19.8%)	53 (15.7%)	46 (17.6%)
40 代～50 代	194 (24.1%)	50 (24.2%)	74 (22.0%)	70 (26.7%)
60 代～70 代	184 (22.8%)	43 (20.8%)	76 (22.6%)	65 (24.8%)
80 代以上	50 (6.2%)	12 (5.8%)	25 (7.4%)	13 (5.0%)
全戸	156 (19.4%)	36 (17.4%)	77 (22.8%)	43 (16.4%)
合計	806 (100%)	207 (100%)	337 (100%)	262 (100%)

全体の年代別では、「40 代～50 代」が最も多く、次いで「60 代～70 代」、「20 代～30 代」の順となっている。

地方別の年代別に見ると、会津及び浜通りは「40 代～50 代」が最も多く、次いで「60 代～70 代」、「20 代～30 代」の順となり、中通りは「60 代～70 代」が最も多く、次いで「40 代～50 代」、「20 代～30 代」の順となっている。

令和元年度調査では、「40 代～50 代」が最も多く、次いで「20 代～30 代」、「60 代～70 代」、の順となっており高齢化が進んでいる。

(3) 芸能披露の期日・披露場所 <周期について>

(回答団体数 159, 単一回答)

	全体	会津	中通り	浜通り
定期的に披露	149 (93.7%)	43 (95.6%)	68 (97.1%)	38 (86.4%)
不定期での披露	8 (5.0%)	2 (4.4%)	2 (2.9%)	4 (9.1%)
期日不明	2 (1.3%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (4.5%)
合計	159 (100%)	45 (100%)	70 (100%)	44 (100%)

全体では、「定期的に披露」と回答した団体が 9 割を超え最も多く、全地方においても同様の傾向である。

(4) 芸能披露の期日・披露場所 <披露の場所>

(回答団体数 160, 複数回答可)

	全体	会津	中通り	浜通り
神社	110 (47.2%)	23 (35.4%)	58 (58.0%)	29 (42.6%)
寺院	20 (8.6%)	7 (10.8%)	4 (4.0%)	9 (13.2%)
民家	23 (9.9%)	7 (10.8%)	10 (10.0%)	6 (8.8%)
集会所	33 (14.2%)	10 (15.4%)	13 (13.0%)	10 (14.7%)
その他	47 (20.2%)	18 (27.7%)	15 (15.0%)	14 (20.6%)

合計	233 (100%)	65 (100%)	100 (100%)	68 (100%)
----	------------	-----------	------------	-----------

全体では、「神社」と回答した団体が4割を超え最も多く、次いで「集会所」、「民家」、「寺院」の順となっている。会津及び中通りでは全体とほぼ同様の傾向であるが、浜通りでは「神社」に次いで「集会所」、「寺院」、「民家」の順となっている。

令和元年度調査においても「神社」と回答した団体が最も多く、同様の傾向が続いている。

(5) 記録資料・映像資料の有無

<報告書などの文書記録>

(回答団体数 237, 単一回答)

	全体	会津	中通り	浜通り
あり	71 (30.0%)	18 (28.1%)	37 (39.4%)	16 (20.3%)
なし	166 (70.0%)	46 (71.9%)	57 (60.6%)	63 (79.7%)
合計	237 (100%)	64 (100%)	94 (100%)	79 (100%)

<映像記録>

(回答団体数 238, 単一回答)

	全体	会津	中通り	浜通り
あり	122 (51.3%)	29 (45.3%)	53 (56.4%)	40 (50.0%)
なし	116 (48.7%)	35 (54.7%)	41 (43.6%)	40 (50.0%)
合計	238 (100%)	64 (100%)	94 (100%)	80 (100%)

報告書などの文書記録については、全体で「あり」と回答した割合が3割となっている。

地方別に見ると、中通りは「あり」と回答した割合が約4割と高い。

また、映像記録については、全体で「あり」と回答した割合は5割を超えている。

地方別に見ると、中通り及び浜通りでは「あり」と回答した割合が5割以上となっている。

なお、令和元年度と比べ、報告書などの文書記録を行っている団体の割合は減少したものの、映像記録については微増している。

（６）外部からの支援の有無・支援内容

＜支援の有無について＞

（回答団体数 237，複数回答可）

	全体	会津	中通り	浜通り
国、都道府県、市町村による支援を受けた	153 (48.6%)	40 (48.2%)	75 (56.0%)	38 (38.8%)
公的団体（財団、NPO法人等）による支援を受けた	40 (12.7%)	8 (9.6%)	18 (13.4%)	14 (14.3%)
民間企業による支援を受けた	31 (9.8%)	6 (7.2%)	19 (14.2%)	6 (6.1%)
その他団体からの支援を受けた	27 (8.6%)	10 (12.0%)	8 (6.0%)	9 (9.2%)
特に支援は受けなかった	64 (20.3%)	19 (22.9%)	14 (10.4%)	31 (31.6%)
合計	315 (100%)	83 (100%)	134 (100%)	98 (100%)

全体では、「国、都道府県、市町村による支援を受けた」を始め、何らかの支援を受けたと回答する割合が約８割あった。

令和元年度調査では、「国、都道府県、市町村による支援を受けた」を始め、何らかの支援を受けたと回答する割合が約７割であり、今回調査において何らかの支援を受けた割合が増加した結果となった。

＜支援内容について＞

（回答団体数 221，複数回答可）

	全体	会津	中通り	浜通り
道具類の新調	109 (30.2%)	33 (32.7%)	45 (27.3%)	31 (32.6%)
道具類の修理	94 (26.0%)	27 (26.7%)	43 (26.1%)	24 (25.3%)
活動場所の修理・整備	12 (3.3%)	3 (3.0%)	6 (3.6%)	3 (3.2%)
運営費	90 (24.9%)	22 (21.8%)	49 (29.7%)	19 (20.0%)
発表の場の提供	30 (8.3%)	8 (7.9%)	11 (6.7%)	11 (11.6%)
研修会等の提供	12 (3.3%)	5 (5.0%)	4 (2.4%)	3 (3.2%)
その他	14 (3.9%)	3 (3.0%)	7 (4.2%)	4 (4.2%)
合計	361 (100%)	101 (100%)	165 (100%)	95 (100%)

支援内容については、全体では「道具類の新調」と回答した団体が約３割と最も多く、次いで「道具類の修理」、「運営費」の順となっている。

地方別に見ると、会津及び浜通りは全体と同じ傾向であるが、中通りは「運営費」が最も多く、次いで「道具類の新調」、「道具類の修理」の順となっている。

令和元年度調査においては、「資金の提供（補助金・寄付金・助成金）」と回答した団体が約４割と最も多く、次いで「道具類の新調」、「道具類の修理」の順となっている。

3. 後継者について

(1) 継承者の状況

(回答団体数 241, 単一回答)

	全体	会津	中通り	浜通り
増減はない	37 (15.4%)	16 (25.8%)	6 (6.1%)	15 (18.5%)
増えている	47 (19.5%)	9 (14.5%)	15 (15.3%)	23 (28.4%)
減っている	157 (65.1%)	37 (59.7%)	77 (78.6%)	43 (53.1%)
合計	241 (100%)	62 (100%)	98 (100%)	81 (100%)

全体では「減っている」と回答した団体が6割を超え最も多く、次いで「増えている」、「増減はない」の順となっている。

3地方ともに「減っている」と回答した団体が5割を超えており、継承者減少の深刻な状況が続いている一方、浜通りにおいては「増えている」と回答した割合が約3割となっている。

なお、令和元年度調査においても、「減っている」と回答した団体の割合は、3地方いずれも5割を超える結果となっている。

(2) 継承者の性別

(回答団体数 235, 単一回答)

	全体	会津	中通り	浜通り
原則として男性であり、男性のみ受け入れている	61 (26.0%)	10 (16.1%)	29 (30.5%)	22 (28.2%)
原則として男性であるが、女性の参加も受け入れている	43 (18.3%)	9 (14.5%)	21 (22.1%)	13 (16.7%)
原則として男性のみ受け入れているが、将来的に女性の参加の受け入れを考えている	28 (11.9%)	4 (6.5%)	16 (16.8%)	8 (10.3%)
原則として女性であり、女性のみ受け入れている	7 (3.0%)	1 (1.6%)	6 (6.3%)	0 (0%)
原則として女性であるが、男性の参加も受け入れている	3 (1.3%)	2 (3.2%)	0 (0%)	1 (1.3%)
原則として女性のみ受け入れているが、将来的に男性の参加の受け入れを考えている	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
性別による制限はない	87 (37.0%)	34 (54.8%)	20 (21.1%)	33 (42.3%)
その他	6 (2.6%)	2 (3.2%)	3 (3.2%)	1 (1.3%)
合計	235 (100%)	62 (100%)	95 (100%)	78 (100%)

全体では、「性別による制限はない」と回答した団体が約4割と最も多く、次いで「原則として男性であり、男性のみ受け入れている」、「原則として男性であるが、女性の参加も受け入れて

いる」、「原則として男性のみ受け入れているが、将来的に女性の参加の受け入れを考えている」の順となっている。

令和元年度調査では、「男性のみ」と回答した団体が約5割と最も多かったことから、性別を問わず参加受入をする団体が増えてきていると考えられる。

(3) 継承者に関する課題

(回答団体数 225, 複数回答可)

	全体	会津	中通り	浜通り
年齢	91 (13.9%)	16 (11.9%)	42 (14.1%)	33 (14.9%)
性別	22 (3.4%)	3 (2.2%)	14 (4.7%)	5 (2.3%)
家庭や仕事の都合	84 (12.9%)	22 (16.4%)	37 (12.4%)	25 (11.3%)
学校や部活の都合	34 (5.2%)	7 (5.2%)	19 (6.4%)	8 (3.6%)
練習時間の確保	42 (6.4%)	8 (6.0%)	17 (5.7%)	17 (7.7%)
世代間の考え方の違い	72 (11.0%)	13 (9.7%)	30 (10.1%)	29 (13.1%)
住民としての関わり	56 (8.6%)	12 (9.0%)	29 (9.7%)	15 (6.8%)
人口減少・少子化	134 (20.5%)	38 (28.4%)	61 (20.5%)	35 (15.8%)
民俗芸能への関心	92 (14.1%)	13 (9.7%)	46 (15.4%)	33 (14.9%)
原子力災害の影響	20 (3.1%)	0 (0%)	1 (0.3%)	19 (8.6%)
その他	6 (0.9%)	2 (1.5%)	2 (0.7%)	2 (0.9%)
合計	653 (100%)	134 (100%)	298 (100%)	221 (100%)

全体では、「人口減少・少子化」と回答した団体が約2割と最も多く、次いで「民俗芸能への関心」、「年齢」、「家庭や仕事の都合」の順となっている。

地方別に見ると、中通りが全体と同様の傾向となっているが、会津では「人口減少・少子化」と回答した団体が約3割となり他項目と比較し大きな要因となっている。浜通りでは、「人口減少・少子化」と回答した団体が最も多く、次いで「年齢」、「民俗芸能への関心」、「世代間の考え方の違い」の順となっている。

(3) 芸能披露に向けた年間の平均的な練習(後継者育成)の期間

(回答団体数 231, 単一回答)

	全体	会津	中通り	浜通り
0 日	13 (5.6%)	6 (10.2%)	3 (3.2%)	4 (5.1%)
1～10 日	103 (44.6%)	25 (42.4%)	51 (54.3%)	27 (34.6%)
11～20 日	46 (19.9%)	5 (8.5%)	20 (21.3%)	21 (26.9%)
21～30 日	21 (9.1%)	8 (13.6%)	5 (5.3%)	8 (10.3%)
1 ヶ月以上～3 ヶ月未満	24 (10.4%)	8 (13.6%)	9 (9.6%)	7 (9.0%)
3 ヶ月以上～半年未満	5 (2.2%)	2 (3.4%)	1 (1.1%)	2 (2.6%)
半年以上～	8 (3.5%)	0 (0%)	3 (3.2%)	5 (6.4%)
その他	11 (4.8%)	5 (8.5%)	2 (2.1%)	4 (5.1%)
合計	231 (100%)	59 (100%)	94 (100%)	78 (100%)

全体では「1～10 日」と回答した団体の割合が4割を超え最も多く、次いで「11～20 日」、「1 ヶ月以上～3 ヶ月未満」、「21～30 日」の順となっている。

令和元年度調査においても、「1～10 日」と回答した団体の割合が約4割と最も多く、次いで「11～20 日」、「21～30 日」、「1 ヶ月以上～3 ヶ月未満」の順となっており、ほぼ同様の傾向となっている。

(4) 練習場所

(回答団体数 230, 複数回答可)

	全体	会津	中通り	浜通り
公民館・コミュニティセンター・勤労福祉会館	60 (22.9%)	18 (25.0%)	21 (19.8%)	21 (25.0%)
学校施設	8 (3.1%)	4 (5.6%)	2 (1.9%)	2 (2.4%)
地区集会場	113 (43.1%)	29 (40.3%)	42 (39.6%)	42 (50.0%)
祭礼等の開催場所	52 (19.8%)	9 (12.5%)	33 (31.1%)	10 (11.9%)
個人宅	15 (5.7%)	6 (8.3%)	6 (5.7%)	3 (3.6%)
その他	14 (5.3%)	6 (8.3%)	2 (1.9%)	6 (7.1%)
合計	262 (100%)	72 (100%)	106 (100%)	84 (100%)

全体では「地区集会場」と回答した団体の割合が最も高く、次いで「公民館・コミュニティセンター・勤労福祉会館」、「祭礼等の開催場所」の順となっている。

地方別に見ると、会津及び浜通りは全体と同様の傾向であるが、中通りは「地区集会場」と回答した団体の割合が約4割と最も高く次いで「祭礼等の開催場所」、「公民館・コミュニティセンター・勤労福祉会館」の順となっている。

令和元年度調査においても、同様の状況である。

(5) 後継者育成・確保のために努力していること、工夫していること

(回答団体数 241, 複数回答可)

	全体	会津	中通り	浜通り
学校との連携 (授業、クラブ活動等)	53 (11.9%)	18 (14.0%)	21 (12.1%)	14 (9.7%)
学校や他団体 (NPO 等) 等の支援受け入れ	9 (2.0%)	1 (0.8%)	4 (2.3%)	4 (2.8%)
地域住民以外の参加 受け入れ	87 (19.5%)	25 (19.4%)	35 (20.2%)	27 (18.8%)
性別を問わず参加 受け入れ	97 (21.7%)	29 (22.5%)	37 (21.4%)	31 (21.5%)
年齢制限の撤廃	37 (8.3%)	11 (8.5%)	11 (6.4%)	15 (10.4%)
芸能の積極的な公開と 啓蒙	41 (9.2%)	14 (10.9%)	17 (9.8%)	10 (6.9%)
インターネット、SNS 等を活用した情報発信	20 (4.5%)	7 (5.4%)	6 (3.5%)	7 (4.9%)
特に行っていない	66 (14.8%)	19 (14.7%)	24 (13.9%)	23 (16.0%)
その他	36 (8.1%)	5 (3.9%)	18 (10.4%)	13 (9.0%)
合計	446 (100%)	129 (100%)	173 (100%)	144 (100%)

全体、地方別いずれで見ても「性別問わず受け入れ」と回答した団体の割合が最も多く、次いで「地域住民以外の参加受け入れ」、「特に行っていない」、「学校との連携（授業やクラブ活動等）」の順となっている。

令和元年度調査においても同様の状況である。

4. 今後の活動のために必要なもの

(1) 保存会(保護団体)としての課題

(回答団体数 235, 複数回答可)

	全体	会津	中通り	浜通り
継承者の育成・確保	212 (22.3%)	52 (19.9%)	90 (21.6%)	70 (25.6%)
指導者の育成	92 (9.7%)	24 (9.2%)	46 (11.0%)	22 (8.1%)
奉納・披露の機会の確保	29 (3.0%)	13 (5.0%)	9 (2.2%)	7 (2.6%)
観客の増加	32 (3.4%)	10 (3.8%)	18 (4.3%)	4 (1.5%)
活動資金の確保	99 (10.4%)	26 (10.0%)	43 (10.3%)	30 (11.0%)
道具類の修理・新調	92 (9.7%)	28 (10.7%)	43 (10.3%)	21 (7.7%)
道具類の保管場所の確保	31 (3.3%)	10 (3.8%)	15 (3.6%)	6 (2.2%)
練習場所の確保	15 (1.6%)	7 (2.7%)	2 (0.5%)	6 (2.2%)
信仰心や郷土意識の向上	67 (7.0%)	15 (5.7%)	35 (8.4%)	17 (6.2%)
練習や活動時間の確保	36 (3.8%)	8 (3.1%)	16 (3.8%)	12 (4.4%)
会員以外の地元住民の参加・協力	75 (7.9%)	18 (6.9%)	31 (7.4%)	26 (9.5%)
女性の参加	34 (3.6%)	11 (4.2%)	12 (2.9%)	11 (4.0%)
他地区からの参加	55 (5.8%)	16 (6.1%)	19 (4.6%)	20 (7.3%)
他団体との連携	25 (2.6%)	10 (3.8%)	10 (2.4%)	5 (1.8%)
学校との連携	45 (4.7%)	10 (3.8%)	21 (5.0%)	14 (5.1%)
その他	12 (1.3%)	3 (1.1%)	7 (1.7%)	2 (0.7%)
合計	951 (100%)	261 (100%)	417 (100%)	273 (100%)

全体では「継承者の育成・確保」と回答した団体が約2割と最も多く、次いで「活動資金の確保」となり、「指導者の育成」及び「道具類の修理・新調」が同率で続いている。

地方別に見ても、「継承者の育成・確保」と回答した団体の割合が最も多く、これは、令和元年度調査と同様の状況であり、継承者が減少する中で継者をどう育成するのか課題である。

(2) 行政に求める事業

(回答団体数 200, 複数回答可)

	全体	会津	中通り	浜通り
民俗芸能の映像記録・上映会など、映像に記録し、公開する事業	68 (12.9%)	12 (9.4%)	34 (14.7%)	22 (13.2%)
篠笛奏者の養成(合同講習会の開催)など、後継者(継承者)を養成する事業	51 (9.7%)	10 (7.8%)	24 (10.4%)	17 (10.2%)
道具・衣装等の補充・修理など、道具類の整備に資する事業	96 (18.3%)	25 (19.5%)	45 (19.5%)	26 (15.6%)
担い手交流会(合同講習の開催)など、子どもたちに、民俗芸能を体験・習得させる事業	67 (12.7%)	11 (8.6%)	23 (10.0%)	33 (19.8%)
ふるさとの祭り(合同発表会の開催)など、芸能披露の場を提供する事業	47 (8.9%)	11 (8.6%)	16 (6.9%)	20 (12.0%)
指定の有無によらない、継承に関する相談ごとへの対応	24 (4.6%)	4 (3.1%)	14 (6.1%)	6 (3.6%)
担当課以外との連携(学校教育課や観光課など)による支援	26 (4.9%)	8 (6.3%)	11 (4.8%)	7 (4.2%)
運営費や用具整備に使える助成金(補助金)等の支援	105 (20.0%)	35 (27.3%)	47 (20.3%)	23 (13.8%)
上記事業や支援情報等の保存会に対する行政からの周知	24 (4.6%)	6 (4.7%)	10 (4.3%)	8 (4.8%)
その他	18 (3.4%)	6 (4.7%)	7 (3.0%)	5 (3.0%)
合計	526 (100%)	128 (100%)	231 (100%)	167 (100%)

全体では、「運営費や用具整備に使える助成金(補助金)等の支援」と回答した団体が2割と最も多く、次いで「道具・衣装等の補充・修理など、道具類の整備に資する事業」、「民俗芸能の映像記録・上映会など、映像に記録し、公開する事業」、「担い手交流会(合同講習の開催)など、子どもたちに民俗芸能を体験・習得させる事業」の順となっている。

地方別に見ると、会津及び中通りで全体とほぼ同様の傾向である一方、浜通りは「担い手交流会(合同講習の開催)など、子どもたちに民俗芸能を体験・習得させる事業」と回答した団体が約2割と最も多く、次いで「道具・衣装等の補充・修理など、道具類の整備に資する事業」、「運営費や用具整備に使える助成金(補助金)等の支援」、「民俗芸能の映像記録・上映会など、映像に記録し、公開する事業」の順となっている。

【民俗芸能実態調査票】

基準日：令和6年9月1日現在

1 民俗芸能の基本情報

(1) 記入者の氏名等	氏名： 保存会における立場： 現住所：() 市・町・村大字 電話番号：
(2) 民俗芸能の名称	
(3) 民俗芸能の所在地	() 市・町・村大字 () 地内
(4) 保存会（保護団体の名称等）	○団体名： ○代表者氏名： ○役職名（任期）： 住所：〒 電話：
(5) 保存会（保護団体）の人数	☐ 保存会の会員数 ※芸能を継承している人、または後継者継承者として参加している人の数 ～10代（ ）名 20代～30代（ ）名 40代～50代（ ）名 60代～70代（ ）名 80代以上（ ）名 ☐ 集落の全戸が会員となっている場合の数（ ）戸 ※会費を負担している世帯数
(6) 記録資料・映像資料の有無	ア 報告書などの文書記録 ☐ あり (名 称：) (刊行年：) ☐ なし イ 映像記録（自作を含む） ☐ あり (名 称：) (制作年：) ☐ なし
(7) 外部からの支援の有無・支援内容	ア 外部からの支援について（複数チェック可） ☐ 国（文化庁）、福島県、市町村による支援を受けた ☐ 公的団体（財団、NPO法人等）による支援を受けた ☐ 民間企業（文化財団など）による支援を受けた ☐ その他の団体からの支援を受けた

	(具体的な名称等 :) ☐ 特に支援は受けなかった → 2 へ イ 支援内容について (複数チェック可) ☐ 資金 (寄付金・助成金) の提供 ① ☐ 道具類の新調 ② ☐ 道具類の修理 ③ ☐ 活動場所の修理・整備 ④ ☐ 運営費 ☐ 発表の場の提供 ☐ 研修会等の提供 ☐ その他 (具体的に :)
--	--

2 活動の状況

(1) 活動の状況 ※「再興」とは、 衰えていたものが再度興る状態 ※「休止」とは、 一時的に休んでいる状態 ※「廃絶」とは、 今後再興が見込めない状態	☐ 活動中 → (2) へ ☐ 一時休止したが再興した 休止年 : 年 再興年月日 : 年 月 日 → (3-1) へ ☐ 休止中 (年間) または (平成・令和 年頃から) → (4-1) へ ☐ 廃絶 平成・令和 年頃 → (5-1) へ
(2) 芸能奉納・披露の期日および奉納・披露場所 ※「定期的」とは 期日(月日)が決まっている、 〇年に1回開催する、毎年秋 に開催するなど、あらかじめ 奉納・披露の期日が決まっ ていることを指します。 ※「不定期」とは イベントの参加や民俗芸能 大会、文化祭等への依頼出演 など、決まっていないことを 指します。	ア 奉納 (披露) の期日について (1つのみチェック) ※定期・不定期両方での披露の機会がある場合は、「定期的」にチェックを つけてください。 ☐ 定期的に奉納・披露 ※具体的な記入例: 5月と10月の第2日曜日など (具体的に :) ☐ 不定期での奉納・披露 (具体的に :) ☐ 期日不明 イ 奉納・披露の場所 (複数チェック可) ☐ 神社 (名称 :) ☐ 寺院 (名称 :) ☐ 民家 (約 戸) ☐ 集会場など (名称 :) ☐ その他 ()

	→ 3 へ
(3-1) 芸能奉納・披露の期日および奉納・披露場所 ※「定期的」とは 期日(月日)が決まっている、○年に1回開催する、毎年秋に開催するなど、あらかじめ奉納・披露の期日が決まっていることを指します。 ※「不定期」とは イベントの参加や民俗芸能大会、文化祭等への依頼出演など、決まっていないことを指します。	ア 奉納(披露)の期日について(1つのみチェック) ※定期・不定期両方での披露の機会がある場合は、「定期的」にチェックをつけてください。 ☐ 定期的に奉納・披露 ※具体的な記入例：5月と10月の第2日曜日など (具体的に：) ☐ 不定期での奉納・披露 (具体的に：) ☐ 期日不明 イ 奉納・披露の場所(複数チェック可) ☐ 神社(名称：) ☐ 寺院(名称：) ☐ 民家(約 戸) ☐ 集会場など(名称：) ☐ その他()
(3-2) 再興の契機 再興のきっかけとなったものを教えてください。 (複数チェック可)	☐ 国(文化庁)・福島県・市町村の補助事業の活用 ☐ 民間・財団などの助成事業の活用 ☐ その他の団体(NPO等)からの支援 ☐ 集落の盛り上がり ☐ 芸能の担い手の確保 ☐ 主導者(リーダー)の熱意 ☐ その他 ※記入例：ふるさとの祭りでの公演 (具体的に：)
	→ 3 へ
(4-1) 休止した理由 休止した原因を教えてください。 (複数チェック可)	☐ 少子高齢化 ☐ 地域の過疎化 ☐ 継承者(会員)の高齢化 ☐ 継承者の不足 ☐ コロナ禍の影響 ☐ 道具類の修理・新調が難しかった ☐ 練習場所の確保ができなかった ☐ 発表機会がなかった ☐ 活動資金が足りなかった ☐ その他 (具体的に：)

(4-2)再興のための課題 (複数チェック可)	☐継承者の確保 ☐避難生活の長期化によるメンバーの離散 ☐指導者の確保 ☐主導者（リーダー）の熱意 ☐会員や地元住民の信仰心・郷土意識の低下 ☐活動資金の確保 ☐用具・衣装の修理・新調 ☐練習場所の確保 ☐発表機会の確保 ☐他団体との連携・ネットワーク ☐その他 具体的に：
(4-3)再興の意思 再興したいと思いますか。	☐再興したい。すでに再興する準備が整っている。 ☐再興したいが、現時点では実現が難しい （自分たちでは課題が解決できない） ☐わからない ☐たとえ課題が解決したとしても、再興は難しい ☐その他（ → 3へ → (4-4)へ) → 3へ
(4-4)再興は難しい と思う理由を教えてください。	☐再興したとしても継承者不足の課題はなくなるらないため ☐避難していて故郷に戻れないから（原発事故等により） ☐保存会の高齢化と少子化が進んでいるから

	☐ 活動資金が不足しているから ☐ 道具の修理・新調が難しいから ☐ その他 具体的に → 3 へ
(5-1) 廃絶した原因 廃絶した原因を教えてください。 (複数チェック可)	☐ 継承者がいなくなった ☐ 地域住民の協力が得られなくなった ☐ 道具類の修理・新調が難しかった ☐ 練習場所の確保ができなかった ☐ 発表機会がなかった ☐ 活動資金が足りなかった ☐ その他 具体的に：

3 継承者について

(1) 継承者の状況 (1つのみチェック) ※「継承者」とは 実際に芸能を習得している 人、または、後継者として練 習している人。	☐ 増えている ☐ 増減はない ☐ 減っている
(2) 継承者の年齢 と性別	(歳 ～ 歳) ☐ 原則として男性であり、男性のみ受け入れている

	☐ 半年以上～ ☐ その他（具体的に： ）
(5) 練習場所 （複数チェック可）	☐ 公民館・コミュニティセンター・勤労福祉会館 ☐ 学校施設 ☐ 地区集会場 ☐ 祭礼等の開催場所 ☐ 個人宅 ☐ その他（ ）
(6) 継承者育成（確保） のために努力している こと、工夫していること （複数チェック可）	☐ 学校（小・中・高）との連携（授業、クラブ活動等） ☐ 大学や他団体（NPO 等）等の支援受け入れ ☐ 地域住民以外の参加受け入れ ☐ 性別を問わず参加受け入れ ☐ 年齢制限の撤廃 ☐ 芸能の積極的な公開と啓蒙 ☐ インターネット、SNS 等を活用した情報発信 ☐ 特に行っていない ☐ その他 ※上記に関する補足などありましたら、ご記入ください。 具体的に：

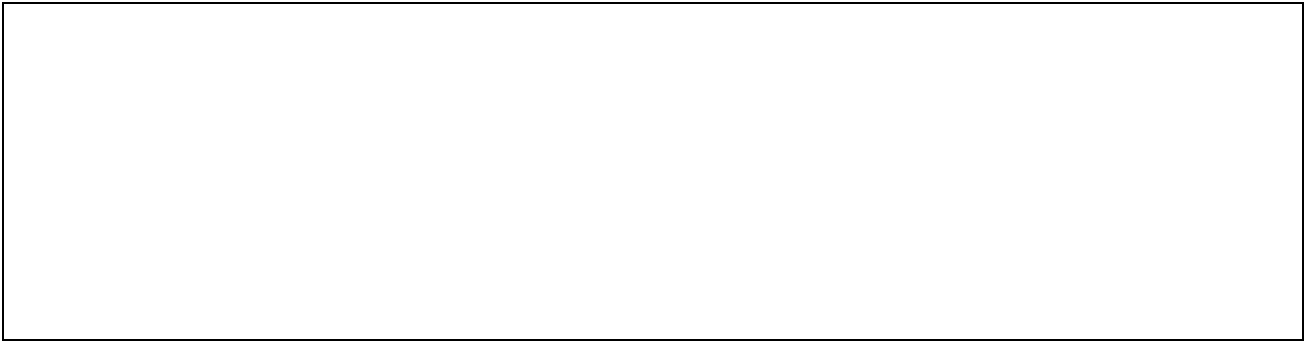
4 今後の活動のために必要なもの

(1) 保存会（保護団体） としての課題 （複数チェック可）	☐ 継承者の育成・確保 ☐ 指導者の育成 ☐ 奉納・披露の機会の確保 ☐ 観客の増加動員 ☐ 活動資金の確保 ☐ 道具類の修理・新調 ☐ 道具類の保管場所の確保 ☐ 練習場所の確保 ☐ 信仰心や郷土意識の向上 ☐ 練習や活動時間の確保
---	---

	☐ 会員以外の地元住民の参加・協力 ☐ 女性の参加 ☐ 他地区からの参加 ☐ 他団体との連携 ☐ 学校との連携 ☐ その他 ※上記に関する補足などありましたら、ご記入ください。 具体的に
(2) 行政に求めたいこと (複数チェック可) ☐ 地域の民俗芸能を継承するために、行政にどのようなことを支援してほしいと思いますか。	☐ 民俗芸能の映像記録・上映会など、映像に記録し、公開する事業 ☐ 篠笛奏者の養成（合同講習会の開催）など、 後継者（継承者）を養成する事業 ☐ 道具・衣装等の新調（補充）・修理など、道具類の整備に資する事業 ☐ 担い手交流会（合同講習会の開催）など、 子どもたちに民俗芸能を体験・習得させる事業 ☐ ふるさとの祭り（合同発表会の開催）など、 芸能披露の場を提供する事業 ☐ 指定の有無によらない、継承に関する相談ごとへの対応 ☐ 担当課以外との連携（学校教育課や観光課など）による支援 ☐ 運営費や用具整備に使える助成金（補助金）等の支援 ☐ 上記事業や支援情報等の保存会に対する行政からの周知 ☐ その他 具体的に

5 その他

ご要望・ご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。



御協力ありがとうございました。